

週刊センターニュース No.154

Center
Research
Higher
Education
Evaluation
Student
Support
System

第154号(2007年4月16日) 毎週月曜日発行
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

第146回共同学習会のご案内

日時: 4月19日(木) 16時30分~18時

場所: 角間キャンパス総合教育棟南棟2階会議室

報告者: 青野 透(大学教育開発・支援センター)

テーマ 「教育成果とFD - 金沢大学のFDをどうするか - 」

趣旨: 専門職大学院から始まり、学士課程教育に至るまで、FDが法的に義務付けられることになった。狭義、広義のFDの定義論を手がかりに、教育成果を確実に上げるためにはどのようなFDが望ましいのか、本学の現状に即して議論したい。

第13回大学教育研究フォーラム参加報告

2007年3月27日(火)、28日(水)の2日間、標記フォーラムに参加した。特別講演「求められる大学教育観の転換 - 学士課程教育・大学院教育・資格教育 - 」、シンポジウム「大学教育の再構築 - 専門職化と教養教育の狭間で - 」に加えて、教育評価、カリキュラム、授業研究、e-Learning・遠隔教育などに関して個人研究発表48件、小講演8件、ラウンドテーブル5件と非常に盛り沢山の内容のフォーラムであった。プログラムの詳細については、<http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/forum/2006/program2006.pdf> を参考にいただきたい。

それらの中から、本稿では、【個人研究発表 D-2】.FD・授業公開研究部会の一つ、「国際連携を活かした Faculty Development - スタンフォード大学 Center for Teaching and Learning との共同研究を通して - 」について紹介させていただく。これは、文部科学省特別教育研究経費採択課題として東北大学がスタンフォード大学でのFD活動について調査・研究してきたことについての発表であった。この研究全体としては、FD全般の調査・研究に加えて、電子メールでのアドバイス等による遠隔FD、日本人教員による米国大学視察、有識者招待、スタンフォード大学でのFDプログラムへの参加などであった。発表自体は、FDの専門知識を持った教員の養成、地域内教員ネットワーク構築、米国FDセンターとの連携と、今後の日本でのFD活動に参考になる内容であったが、それ以上に質疑応答時に出た以下の2つの点について、驚きとともにFDに関する認識を新たにすることになった。

1. アメリカでは、FDは大学における教員の活動(研究、教育、社会貢献、学内運営)全てに関わるものとして考えられている。

2. 連携相手先である Center for Teaching and Learning(CTL)の主たる目的は、教員のタイムマネジメント、つまり、教育、研究の時間配分の適正化をはかることである。それは、特に若手の教員が、教育に時間をかけすぎることがないように、研究に十分な時間を割けるように、教育の効率化を考え、

効率的な教育方法を指導することである。

もちろん、この発想の背景には、アメリカでの大学教育として、消費者である学生を満足させるし
っかりとした教育を行うことが当然であるという考えがあるのだろうが、それにしても、「教育に時間
をかけすぎない」という考え方は非常に新鮮であった。日本の大学教員も、アメリカ式に発想を転換
して、学内で努力を求められる狭義の FD（教育方法改善）をやっかいなものと考えずに、自分の研
究を円滑に進めるため、十分な研究時間を確保するための手段だと捉え、積極的に参加することで、
大学教員の活動全てを含むとされる広義の FD を推進してみてもはどうだろうか。

（文責 教育支援システム研究部門 堀井祐介）

1 件の基盤研究、新規採択

本センターが昨年申請しました科学研究費補助金「北欧における大学運営、大学評価への学生参画
システム検証」基盤研究(C)一般，平成 19－20 年度（研究代表者：堀井祐介）が採択されました。

昨年より継続の「大学評価指標における『学生支援』の位置づけに関する実証的研究」基盤研究(C)，
平成 18－19 年度（研究代表者：青野透） および「社会科学分野の高度専門人材育成大学院に係る
認証評価の充実策に関する実証的研究」基盤研究(C)，平成 18－19 年度（研究代表者：早田幸政）と
併せ、研究を進めるにあたり、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ランチョンセミナー

平成 19 年度前期のランチョンセミナーが始まりました。

- 第 3 回 4 月 16 日（月） 高校までとはここが違う - 大学の理系基礎 物理学その 2 -
森 祥寛（学生部 ICT 教育推進室）
- 第 4 回 17 日（火） 四月病？五月病？ - アドバイス教員と相談室 -
青野 透（大学教育開発・支援センター）
- 第 5 回 18 日（水） 憲法九条について - 日本近現代史のなかで考える -
西田 美昭（東京大学名誉教授）
- 第 6 回 19 日（木） 30 分間角間キャンパスの旅
堀井 祐介（大学教育開発・支援センター）
- 第 7 回 20 日（金） 高校までとはここが違う - 大学の理系基礎 数学その 1 -
森 祥寛（学生部 ICT 教育推進室）